

新刊

□ Brummitt R. K.: **World Geographical Scheme for Recording Plant Distributions. Edition 2. Plant Taxonomic Database Standards No. 2, Edition 2, August 2001.** Published for the International Working Group on Taxonomic Databases for Plant Sciences (TDWG) by the Hunt Institute for Botanical Documentation Carnegie Mellon University, Pittsburgh. xv+137 pp. ISBN0-913196-72-X. 定価\$10.00, 購入などについては, e-mail で robinf@andrew.cmu.edu が問い合わせに応じる。

近年植物分類学は地球規模で研究対象を扱い, 成果が著しい。国際化に大きな役割を果たしているものの一つに各種のデータベースが充実してきた点を挙げることができる。すでに出版または電子データ化されたものの中で, ハーバリウムと標本は Index Herbariorum Part 1. The Herbaria of the World および Part 2. Collectors, 学名の著者名とその省略表記については Authors of Plant Names (Brummitt R. K. and Powell C. E. 1992), 分類学関係の単行本についてはタイトル, 省略表記, 出版年代など Taxonomic Literature, 2nd edition (Stafleu F. A. and Cowan R. S. 1976–1988) および同書の Supplements (Stafleu F. A. and Mennega E. A. 1992–2000), 定期刊行物のタイトルは Botanico-Periodicum-Huntianum (1968) および同書の Supplement (Bridson G. D. R. and Smith E. R. 1991) などがある。これらの基準データは国際植物命名規約に採用されていて国際的な基準となっている。これらのデータベース充実の恩恵に浴している分類学者は多いと思う。私も正確な著者名や書名をチェックするのに沢山の文献を探し調べ確認し, 多大の時間を費やした二十数年前までのことが夢のようである。

ここに紹介する本書もこれらの出版物に準ずるもので, 植物分類学関連の地域と地名について国際的な標準化を目指したデータベースである。これは1992年に出版された Hollis S. and Brummitt R. K.: World Geographical Scheme for Recording Plant Distributions の改訂版であり, 私もアジア地域の一部について

協力した。本書では地球上の地域を4レベルの階層に分割する。International Standards Organisation による政治的区分の地名 (ISOコード) も対応させている。実例をあげる方が分かりやすいと思う。四国を例とすれば, 第1レベルは大陸レベルで Asia-Temperate (コード3), 第2レベルは地域レベルで Eastern Asia (コード38), 第3レベルは Botanical Countries でいわばフロラ的にみた国レベルとでもいうもので Japan (3文字コードで表し, JAP), 第4レベルは基本単位と認められるレベルで (5文字コードで表し, JAP-SK) となる。まとめると四国は 38JAP-SK となる。日本は第4レベルで8地域となる。Japan: Hokkaido, Honshu, Shikoku, Kyushu, Kazan-retto, Marcus Is., Nansei-shoto, Ogawara-shoto に分かれ, Marcus Is. (62MCS-OO) だけが Pacific (コード6) の Northwestern Pacific (コード62) に属し, 他は Asia-Temperate の Eastern Asia に属す。本書の内容は始めに使用説明と初版との違い一覧などがあり, 地名と地名コードの表 (5表), 表6は Gazetteer (35ページ), さらに Maps (17葉) が続く。本書では採用していない使い慣れた地名も Gazetteer に集録されている。例えば, Ryukyu は Ryukyu Is = NANSEI-SHOTO38NNS-OO [JP (これがISOコード)], Bonin Is は = OGASAWARA-SHOTO38OGA-OO [JP] のように異名として示されている。しかし Nihon, Nippon はなく, Ezo, Hondo など日本の古地名は含まれていない。本誌76(4): 242–243 (2001) で新刊紹介した地球植物誌では各種の分布に地名コード番号を加えているが, 慣れると番号を拾って見るだけで, その種の大まかな分布図が頭に浮かぶようになる。

本書は地図帳として座右に置いていても便利で, 手軽に参照できる。値段が安いのは国際化を目指したためであろう。非常に有用なハンドブックであり, 単に植物分類学だけで役立っているのはもったいない。植物分類学研究者だけではなく, 動物分類学や生態学分野の研究者にもぜひ推薦したい。(大橋広好)